ボーリング柱状図

調　査　名　主要地方道　吉田邑南線　交通安全施設等整備事業に伴う詳細設計業務委託

事業・工事名

ボーリングNo.	5	2	3	2	0	5	7	0	0	0	3

シートNo.

ボーリング名	Bor No.3	調査位置	安芸高田市美土里町横田	北緯	34° 43' 37.2028"
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	平成29年11月 7日～平成29年11月 8日	東経	132° 37' 47.7264"
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	TP 329.80m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	0北 0° 90°東 180°南 270°西	地盤勾配	28° 水平0° 鉛直90°	使用機種	試錐機	東邦D2G-58	ハンマー落下用具	半自動型
総掘進長	9.00m								エンジン	ヤンマーNS-130	ポンプ	東洋BP1

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	粒度試験による土質区分	孔内水位／測定月日
1	328.10	1.70	1.70		粘土質砂	茶褐	中ぐらい		粘性土分を50%程度含有する。 粘土化した強風化土状を呈する。 極少量の礫を混入する。		
2					流紋岩	茶褐			流紋岩の強風化部であり，土砂状を呈する。 土砂部は硬軟が変化する。 局部的に未風化の岩芯を残す。		
3											
4											
5	324.10	4.00	5.70			茶褐灰					
6					流紋岩	褐灰			流紋岩の強風化部であり，土砂状を呈する。 土砂部は硬軟が変化する。 GL-7.0m付近，未風化の岩芯を残す。		
7											
8											
9	320.80	3.30	9.00								
10											
11											
12											
13											
14											

標準貫入試験

深度 m	10cm毎の打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量	N値
1.15	3	4	5	12/30	12
1.45					
2.15	5	5	5	15/30	15
2.45					
3.15	4	6	6	16/30	16
3.45					
4.15	1	2	2	5/30	5
4.45					
5.15	5	4	4	13/30	13
5.45					
6.15	8	9	9	26/30	26
6.45					
7.00	50/5			50/5	50以上
7.05					
8.15	3	5	5	13/30	13
8.45					
9.15	10	10	11	31/30	31
9.45					

N値 0 10 20 30 40 50 60

原位置試験 深度 m	試験名及び結果	試料採取 深度 m	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
						11/7
						11/8